

スクール・ポリシーに基づく 取組事例紹介

徳島県公立高等学校魅力化推進委員会において発表があった学校を中心に、各校のスクール・ポリシーに基づいた特色ある取組事例を掲載しています。取組事例を参考にしながら、特色化・魅力化に向けた取組をお願いします。

すでにお取り組みいただいている学校においては、学校運営協議会などで取組の効果を検証の上、更なる充実が図られるよう、ブラッシュアップをお願いします。

発表校の取組については、二次元バーコードを読み込んでいただくと、発表の様子をダイジェスト動画でご覧いただけます。スクール・ミッションやスクール・ポリシー等については、各学校のホームページをご覧ください。

表記の見方

- **魅力化キーワード**
特色化・魅力化の視点や手法
- **活動のねらい**
活動を通じて身につけさせたい資質や能力
- **活動の効果**
活動を通じた生徒の変容
- **関連テーマ**
活動の分野や領域



第3回徳島県公立高等学校魅力化推進委員会での那賀高校の発表の様子（令和4年11月29日開催）

徳島県立
城北高等学校

徳島ならではの
地域課題に挑戦！



学校ホームページ

魅力化キーワード 地域との連携 情報発信 **活動のねらい** 主体的・協働的態度 課題解決能力

大学や企業と連携し、地方創生につながる探究活動や伝統文化の継承に取り組んでいます。



徳島駅前の活性化

地域活性化に向けた課題を分析するために実施した、アンケート調査の結果を踏まえ、若者をターゲットにした徳島駅前の活性化に取り組みました。総合的な探究の時間を活用し、駅前商店街のカフェで親子向けのイベントを開催するなど、にぎわいづくりに貢献しました。

伝統文化の継承

民芸部はプロの人形遣い勘緑さん等を輩出するなど、人形浄瑠璃の継承に貢献してきました。5か国の海外公演や訪問団の受入れなど、国際交流にも貢献しています。若者世代への認知度アップのため、SNSを活用した、魅力発信に取り組んでいます。



活動の効果

グループでの協働活動を通じて、自分の考えを表明することや他者の意見を踏まえ、納得解を見出す力が育まれている。



取組発表の様子はこちら

関連テーマ SDGs 地方創生 伝統文化

特色化・魅力化の方向性

各学校が、それぞれの強みを生かし、新たな仕組み*も活用して、学校教育活動の充実を図るなど、各学校ならではの特色や魅力を地域とともに作りあげていく。

*新たな仕組み・・・スクール・ミッション及びスクール・ポリシー
徳島県 GIGA スクール構想 学校運営協議会

特色化・魅力化に向けた方策

表記の見方

1～4 方策の柱 目標
具体的方策と留意事項
HINT! 新たな視点やアイデア
ゴシック体 取組のキーワード

1 スクール・ポリシーの共有と浸透

スクール・ポリシーの見直しや、学校教育活動の検討においては、教職員はもとより、生徒や保護者、地域の人々等、関係者の参画を積極的に図り、当事者意識を醸成しましょう。



既存の組織も効果的に活用しながら、スクール・ポリシーを基準に学校教育活動を検討するための組織づくりを行いましょ。年度初めや年度末等、適切な時期にその組織による検討会を実施し、学校教育活動の精選と重点化を図ることが大切です。



学校運営協議会での協議や学校評価の結果、教育施策の動向等も踏まえ、定期的なブラッシュアップを行いましょ。

徳島県教育振興計画が改定される令和5年度は見直しを図る絶好のタイミングとなります。学校教育活動の新たな指針として、中学生や保護者の主体的な進路選択に資するよう、積極的な情報発信に努めましょ。



ワークショップ形式の検討会の様子(城北高校)

2 地域を学びの場とした学習活動の推進

地域にある人的・物的資源を効果的に活用した学習活動により、幅広い人たちとの世代を超えた交流を促進し、地方創生を担う実践力を育成ましょ。



地元企業と連携して開発した商品の販売活動(城北高校)



「社会に開かれた教育課程」を念頭に、SDGsの実現やSociety5.0への対応、また、地域の魅力や課題に着目するなど、総合的な探究の時間を活用した、教科等横断的な学びを構築し、郷土愛や社会貢献意識をはじめ、探究力や協働力など、社会参画力を育むことが大切です。

実践例

- ・企業や大学等の専門性を活かした出前授業
- ・地域と連携協働して行う防災教育
- ・地域人材を活用した特別講座
- ・地元企業と連携した商品開発 など

校内はもとより、校種を越えた交流を含めた学校間交流を促進し、地域連携を担う教職員や外部人材同士のネットワークづくりに努め、地域連携のための実践的なノウハウの共有*を図り、学習活動の企画運営や地域資源の掘り起こしなど、学校と地域をつなぐコーディネート機能を充実する必要があります。



普通科においては、画一的とも言われる教育内容からの脱却を図り、将来の職業を意識した実践的な学びを深められるコースを設置したり、文理融合の柔軟な教育課程を編成したりするなどして、地域の強みを活かした、生徒の可能性や能力を伸ばす、特色ある教育活動の推進*を図りましょ。

- * 地域連携マニュアルや外部人材リストの作成等により、業務を標準化しておくことで、活動が持続可能なものとなります。
- * 「総合的な探究の時間」や「学校設定科目」の工夫等により、生徒の意識や行動変容を促し、実社会で必要とされる資質や能力を育むなど、個性豊かな教育内容を創出することで、他の普通科高校との違いを明確にし、新たな学校の強みにつなげます。

学校運営協議会の効果的活用に関する好事例を共有するなどして、その機能強化を図り、組織的な連携協力体制のもと、持続可能で、特色・魅力ある教育活動を推進ましょ。



学校運営協議会委員の選任に当たっては、育てたい生徒像を見据えた上で、大学や企業、地元の自治体、小・中学校などとの連携を念頭に置いた人選を行いましょ。



魅力化キーワード 地域との連携 活動のねらい 実践的語学力 課題解決能力 協働力

県内唯一の国際英語科を有する徳島北高校では国際交流を通して、地域課題の解決に取り組んでいます。



北島ひょうたん夏祭りの様子

語学力を生かした「おもてなし」

地域の祭りに言語スタッフとして参加しました。アメリカ、台湾、ベトナムなど、様々な国の出身者が来てくださいました。訪れた外国の方を私たち高校生が案内し、日本の祭り文化を体験してもらいました。日本の高校生や、地域の人々と話す機会を持つことができ良かったなど、好意的な感想を頂きました。



地元商工会との打合せ

成功の秘訣は「企画運営への参画」

英語版チラシの作成や、伝統文化の体験など、祭りの企画運営にも積極的に参画しています。地元商工会の方と入念な打合せを行い、綿密に計画を練ったことが成功につながっています。



英語版チラシ

活動の効果

英語力の向上をはじめ、地域課題を自分事として捉え、地域とともにそれを解決しようとする実行力を身に付けることができている。



取組発表の様子はこちら

(令和4年度スーパーオンラインワンハイスクール事業生徒活動発表会での発表)

関連テーマ 地域活性化 外国人との共生社会



魅力化キーワード 生徒主体の活動 活動のねらい 主体性 探究力

自分の物語をつづっていくキャリア・パスポート「未来手帳」や生徒が先生役となる「生徒授業」など、生徒が主体となった活動の推進に取り組んでいます。



学ぶ楽しさを実感する「生徒授業」

先生役を務める生徒が自分たちの身近にある、深い学びが潜んでいると思われる授業テーマとその内容を考えるなかで、学ぶ楽しさや、わかる喜びを味わうことができます。総合的な探究の時間をはじめ、地元の中学校でも「生徒授業」を実施しています。

努力に見える化する「未来手帳」

キャリア・パスポートとして部活動の記録やボランティアの記録、資格取得の記録を記入しています。各学期や定期考査の振り返りに活用したり、各種行事や講演会などがあつた際にも、この手帳にメモを取ったりしています。また、ホームルーム担任とのコミュニケーションツールとしても活用しています。



模範となる使い方をしている生徒を表彰する「手帳コンクール」

活動の効果

学びの追究や自己実現に向けて、主体的に取り組むようになるとともに、成果があがることで自己肯定感の高揚にもつながっている。



取組発表の様子はこちら

関連テーマ 主体的・対話的で深い学び キャリア教育



新時代の学びの創造に向けて 高校魅力化の方策

徳島県公立高等学校魅力化推進委員会からの提言より



未来を切り拓き 新たな価値を創造する力

予測困難と言われる時代、答えのない問いにどのように立ち向かうのか。課題を見出し、主体的に考え、多様な人と協働しながら、これを解決する力。これからの学校はこうした力を育むことができる場として、教育活動の魅力化を図り、しっかりとその役割を果たしていく必要があります。このリーフレットは、魅力化を図っていく上でのヒントとなる具体的な方策を掲載しています。あわせて、徳島県内で「新時代の学び」に先進的に取り組んでいる高校の取組事例も掲載しています。生徒がいきいきと楽しく学び、多くの人々が集う、魅力あふれる学校づくりのためにぜひ、ご活用ください。

令和5年3月 徳島県教育委員会





魅力化キーワード 地域との連携 活動のねらい 社会貢献意識 協働力

平成 29 年度に設立されたエシカルクラブでは、地域や企業との連携のもと、使われていない衣服を回収し、新たな命を吹き込む「服活」活動に取り組んでいます。



使われていない衣服に新たな命を

回収した衣服は地域の施設等で展示し、必要な方に譲渡しています。「素敵な活動ですね」というお客様の言葉がとても励みになっています。阿南市で行われる「あなんまちマルシェ」には第 1 回目から参加しており、今では看板ブースとなっています。

地域に広がるエシカルの輪

服の回収や展示には、町内のこども園や公民館などの公共施設をはじめ、趣旨に賛同した多くの企業にも協力を頂いています。地域にエシカルの輪が広がっています。



地域の人との
ふれあいで
人として成長！

活動の効果

活動の中で多くの方と接する機会が増え、コミュニケーション能力の向上にもつながっている。学校のことを知ってもらえる良い機会にもなっている。



取組発表の様子はこちら

関連テーマ SDGs エシカル消費



魅力化キーワード 地域との連携 情報発信 活動のねらい 課題解決能力 協働力

県内外から集う仲間とともに、「SDGs を軸とした地域学習（海部学）」や「起業体験」など、生徒一人ひとりにきめ細やかな、多様なニーズに対応した教育活動を行っています。



地域の人から学ぶ

海陽町の豊かな自然や文化を地域の人から学んでいます。地域を生きた教材として活用し、SDGs を軸とした環境保全活動や住み続けられる町づくりなど、地域の人々との交流による豊かな学びが実践されています。ふるさとを愛する心、将来の地方創生を担う実践力が育まれています。

地域や学校の魅力を発信

学校や海陽町の魅力を生徒自らが積極的に発信しています。地域の人々への取材をはじめ、映像の制作まで生徒が行っています。ホームページ等を活用した積極的な情報発信を行い、地元をはじめ、県外からも若者が集いはじめられています。



活動の効果

地域の人から学ぶことで、地域の魅力や課題をより身近に感じることができ、地域とともに、主体的に課題を解決していこうとする態度が育まれている。



海部高校 PR 動画

関連テーマ SDGs 地方創生

新時代の学びの創造に向けて



特色化・魅力化の背景

本県における中学校卒業後の高等学校（中等教育学校の後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部を含む。）への進学率は、令和4年3月には98.9%となっており、中学校を卒業した生徒の大部分が進学する教育機関である高等学校は、様々な背景を持つ生徒が在籍することから、期待される役割が多様化しています。

本県公立高等学校の中には、既に学科の特性を活かしたり、地域と協働したりして特色ある教育活動に取り組み、卒業後の進路実績や中学3年生を対象とした進学希望調査の結果等において、その効果が現れている学校もありますが、**予測困難な時代を生きる子どもたちに、未来を切り拓く力や新たな価値を創造する力を培うため**、新たな仕組みも活用し、教育活動を更に充実する必要があります。

折しも、中央教育審議会の答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」では、スクール・ミッションの再定義やスクール・ポリシーの策定、さらには「普通教育を主とする学科」の弾力化等、新時代に対応した高等学校教育の在り方が示されたところです。

今日、生徒の能力・適性、興味・関心等が多様化するなか、高等学校は、全ての生徒の学習意欲を喚起し、また、**地域振興の核としての役割も期待されている**ことから、県下全ての公立高等学校において、各校が求められる役割を再検討し、それを基に教育活動の不断の改善を図り、より一層、特色化・魅力化に向けた取組を推進する必要があります。

こちらもあわせてご覧ください

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm

徳島県公立高等学校魅力化推進委員会報告書と、このリーフレットのデータは県ホームページからダウンロードできます。学校運営協議会や校内研修等でぜひ、ご活用ください。
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kyoiku/gakkokyoiku/7214302/>

学校行事の精選や校内組織のスリム化など、学校における働き方改革の推進も教育活動の充実につながります。『とくしまの学校における働き方改革プラン（第2期）』推進中です！
<https://hatarakikata.tokushima-ec.ed.jp/>

県や国の事業を活用することも効果的です。▶

<県指定> スーパーオンリーワンハイスクール事業

<国指定> スーパーサイエンスハイスクール事業

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究 など

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

ICTの活用事例を参考にした学びのデザインはこちら ▶

徳島県 GIGA スクール構想推進本部 部会通信で最新情報を確認！



スクール・ミッションやスクール・ポリシーは県ホームページからもご覧いただけます。

発行 徳島県教育委員会教育創生課

高校魅力化担当 電話 088-621-3154

徳島県教育創生課





魅力化キーワード 大学や自治体、地域との連携 活動のねらい 課題解決能力 郷土愛

地域の一員として、地域の魅力を探り発信するとともに、課題を探り、地域の活性化や、よりよい町づくりに向けた取組を行っています。



フィールドワーク「撫養街道を歩く」

「なると観光ボランティアガイド」といっしょに、岡崎海岸から岡崎・弁財天地区を歩く、フィールドワークを実施しました。普段、気にせず通っている道にたくさんの歴史があることを知りました。ガイドの説明を聞きながら地域を歩き、地域の魅力を実感しました。

安全・安心は地域の魅力

鳴門市が開設する「生涯学習まちづくり出前講座」の防災に関する講座の受講を踏まえ、地域や学校周辺の安全性について探究を行いました。安全性が保障できれば、撫養街道のような名所を災害から守ることもできます。安全・安心であるということは地域の魅力にもつながります。



活動の効果

自治体との連携により、地域の魅力や地域が抱える課題を知る良い機会となり、地域への貢献意識の醸成につながっている。



取組発表の様子はこちら

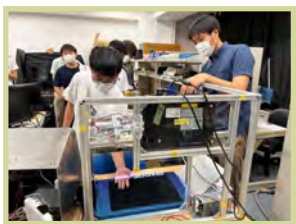


関連テーマ 地域活性化 歴史 防災

高大連携
最先端技術を体感！

魅力化キーワード 大学や自治体との連携 活動のねらい 探究力 協働力

SSH 指定校として、大学との連携を推進し、プログラミングやAIなどの最先端技術を体感する研修や、AIやIoTを用いた課題研究に取り組んでいます。



超音波を利用した触覚体験

東京大学 AI 研修

AI の活用方法や最先端のロボットについて学ぶとともに、ディスカッション等を通して、新しいアイデアを創出する方法を体験しました。最先端技術を身近に感じることができました。



白い機械が水分センサーデータはクラウド上に自動で送信される

AIやIoTを用いた課題研究

世界農業遺産である「にし阿波の傾斜地農耕システム」で行われている農地にカヤを投入する伝統農法について、カヤの保水性に着目し、リモートセンシング技術を用いて、科学的にその効果を検証しました。

活動の効果

いろいろな人とふれあう機会が増え、自分の考えの幅を広げることができている。卒業後の進路目標が明確になるなど、自己実現に向けた、きっかけともなっている。

進路目標
が明確に
なった！

取組発表の様子はこちら



関連テーマ イノベーション



学校運営協議会の流れ

- ①学校の育てたい生徒像を共有する
- ②それを実現するための方法などを議論する

◀ 「熟議」(鳴門高校)
「ポリシー等に掲げる資質・能力を育てるためにできること」

PDCA サイクルの確立で
組織としての機能を強化!

③学校運営協議会から提案された連携活動について検討、実施する



学校運営協議会委員の企画・コーディネートによる実践例

生徒と地域の連携による (小松島西高校) ▶
「クッキーの商品化・販売活動」

◀ 生徒発表・企業取組事例紹介と意見交換 (鳴門高校)
「未来のためにできること～考えようエンカル消費～」



④取組状況を振り返り、成果と課題を共有する



HINT! 学校運営協議会委員や同窓生が持つ、人的ネットワークを活用すれば、活動の更なる広がりが期待できます。また、地元商店街の活性化や伝統文化の継承など、**学校の教育力を地域に還元する活動**を取り入れることで、連携協力体制がより強固なものになると考えられます。

③ 特色化・魅力化を加速する I ICTの効果的活用

授業改善をはじめ、地域や大学等との連携による探究活動の推進など、**学びの可能性を広げる**ツールとして更なる活用を図り、豊かな学びを創出しましょう。



日韓高校生交流プログラム
(城ノ内中等教育学校)



小規模校における遠隔授業や、大学の最先端の学び体験、海外の学校との交流などで活用が進んでいます。徳島県 GIGA スクール構想推進本部の部会通信等で、最新の活用事例を確認し、実践につなげましょう。



HINT! 大学と連携し、オンラインによる事前事後学習と、フィールドワークなどの対面による校外学習を組み合わせ、ハイブリッド型の学習活動を展開し、高い教育効果をあげている事例もあります。

遠隔・オンライン教育は、授業支援アプリケーションの情報共有機能を効果的に使用すれば、対話的・協働的な学習においても効果があります。時間的・空間的な制約を超える、双方向性など、ICT のメリットを最大限に活用し、**個別最適学びと協働的な学びの一体的な充実**を図りましょう。



遠隔授業の様子
(海部高校)

4 学校の魅力が「伝わる」情報発信の推進

※コンテンツ 映像や記事等、情報の内容のこと

特色・魅力ある活動を実際に行う、生徒の「生の声」が伝わる**生徒主体の広報活動**により、学校教育活動への理解や参画を促進しましょう。



県内外を問わず、中学生やその保護者等、多くの人々の心に響くよう、**コンテンツの工夫**を図るとともに、その内容や目的に応じて、ホームページや SNS、学校案内、また、テレビや新聞等の報道も含めて、適切な媒体で継続的に発信することが大切です。



HINT! カリキュラムの特長や進学実績など、学校の基本的情報に加えて、授業や部活動等に取り組む、**生徒の思いや表情、成長がわかるコンテンツ**が効果的です。また、**生徒自身が企画や取材活動、コンテンツの制作**を担う事例もあります。生徒目線の良さを活かした、魅力発信につながります。

実践例

- ▶ 企業の PR 映像がインタビューを交えて、社員がいきいきと働いている様子をまとめたものが多いように、**いきいきとした生徒の様子が伝わる映像**
- ▶ スクール・ポリシーに基づく活動を通じて、**卒業生等がどのように成長したかをまとめたインタビュー映像や記事**
- ▶ 例えば、生徒会組織に「(例) 学校広報委員会」を設置するなどして、**広報を担う生徒を組織化しておけば、学校間交流により、互いの学校の魅力を取材し、紹介動画を制作するなど、新たな魅力発信にもつながります。**



城北高校民芸部 SNS